

# 新規上場 インタビュー

## アイ・パートナーズフィナンシャル

2021年6月23日上場 [7345・マザーズ]  
初値 9,880円 騰落率 216%

### 金融商品仲介業として初の上場 年々高まるIFAの存在感を象徴

国内のリテール金融市場が変わりつつある。人生100年時代を迎え、年金問題などの不安もある。証券市場をコアの資産形成の場として選ぶ投資家が増えつつある。そんな中、投資家のパートナーとして存在感を高めているのがIFA（独立系ファイナンシャルアドバイザー）だ。この金融商品仲介業を手掛け、国内初の上場を果たしたアイ・パートナーズフィナンシャルに注目が集まっている。



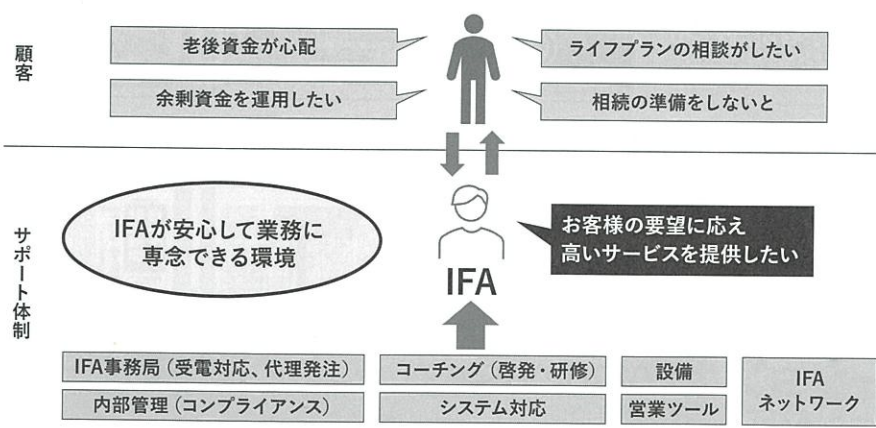
**田中 譲治**社長  
プロフィール●たなか・じょうじ  
1957年鹿児島市生まれ、早稲田大学卒。大和証券、モルガンスタンレー証券（現・三菱UFJモルガン・スタンレー証券）、UBS証券、メリルリンチ日本証券（現・BofA証券）にて、機関投資家向け株式営業及び個人資産管理型営業に携わる。2002年にIFAとして独立。09年アイ・ブレン（現・アイ・パートナーズフィナンシャル）に入社、同年3月に取締役就任。14年5月、代表取締役に就任（現任）。

プラットフォームとしてIFAの業務・成長を支援  
金融市場にIFA（独立系ファイナンシャルアドバイザー）が登場したのは、04年の証券取引法改正後である。IFAは証券会社に属さず、独立した中立公正な立場から投資家の資産運用・保全に対するアドバイスをしない、複数の証券会社の金融商品から顧客に最適な商品を提案・販売の営業から独立して転身するケースが大半である。6月に上場を果たしたアイ・パートナーズフィナンシャルは、200名近くのIFAが所属する

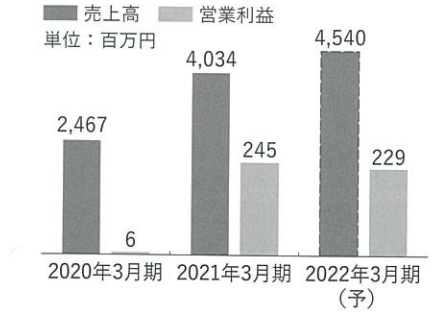
「当社ではIFAと委任契約を結んでいます。雇用ではないので会社からの営業方針の指示やノルマはない。だからこそ純粋に顧客の利益のためのアドバイスができます。IFAは顧客からの信頼の上に成り立つビジネスです」（田中譲治社長）

#### IFAから見た同社グループの事業

IFAが業務に専念できる環境の提供

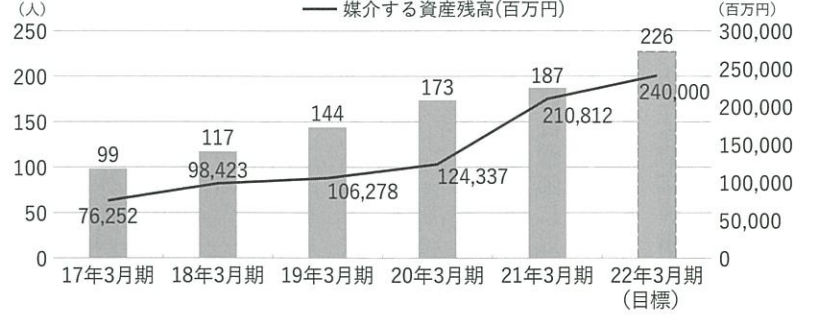


#### 売上高と営業利益の推移

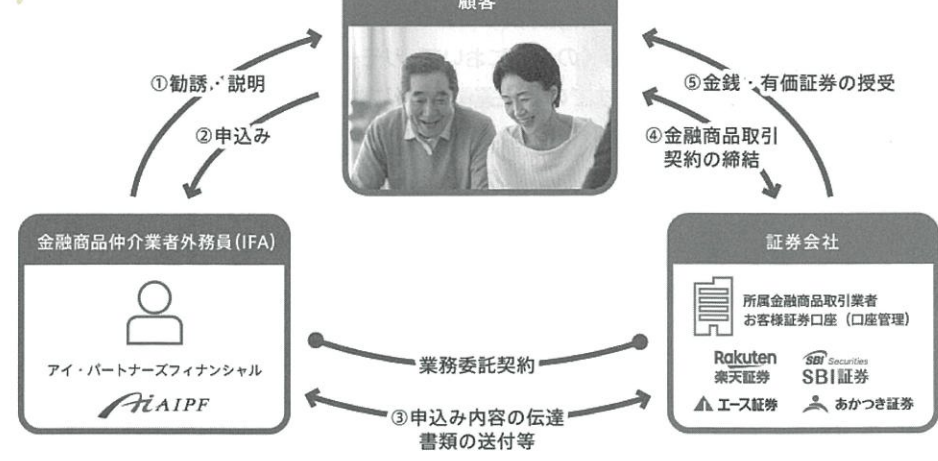


「投資家がコアの資産を証券市場で運用するためには、顧客の人生の伴奏者と言えるアドバイザーの存在が必要。その役割をIFAが担うことで金融市場が変わっていく。今後もIFAの健全な発展のために尽力していきたい。結果的にそれが我が国の幸福に繋がると考えます」（同氏）

#### IFA数と資産推移



#### ■仕組み



フォーメーです。不在時の顧客対応や受発注はもとより、異なる証券会社の顧客口座を一元管理するシステムの提供といった業務効率化へのサポートが一つ。そして全国21拠点のオフィスブラスやPC、電話といった、ハード面を含むビジネスプラットフォームを築いたからこそ、多くのIFAが集まっている。同社の売上は所属IFAが仲介した取引に応じて各証券会社から同社に支払われる業務委託報酬と、各IFAから支払われるシステム使用料によって成り立つ。所属IFAの増加、媒介資産残高の増加により売上が伸びる仕組みだ。17年に99名だったIFAは21年には187名に。それに伴い、媒介資産残高は17年の76億5200万円から21年は2

108億1200万円に増加。売上高は17年の12億6600万円から21年は40億3400万円になり、年平均成長率33.6%で推移している。金融市場はIFAに追い風媒介資産残高増で飛躍へ  
金融庁では近年、顧客本位の業務運営の徹底を推進している。また昨今、投資家の中で証券市場をコアの資産形成の場にしようという動きが顕在化してきている。そんな中、IFAの存在感は年々高まっており、主要証券6社のIFA経由の合算預かり資産は3兆円に達した。

[アイ・パートナーズフィナンシャル] 株式データ		
コード	7345	市場 東証マザーズ
直近株価	5,450円	(21.7/26終値)
年初来高値	9,900円	(21.6/24)
年初来安値	5,430円	(21.7/26)
時価総額	44.3億円	
PER	30.2倍	配当利回り —
PBR	9.81倍	決算 3月
2021年3月期 連結業績		
売上高	40億3400万円	前期比 63.5%増
営業利益	2億4500万円	41倍
経常利益	2億3900万円	34倍
当期純利益	1億5200万円	前期は△0
2022年3月期 連結業績予想		
売上高	45億4000万円	前期比 12.6%増
営業利益	2億2900万円	6.3%減
経常利益	2億2600万円	5.4%減
当期純利益	1億5000万円	1.8%減